

グループトーク「みんなで話そう！横浜での子育て」

開催報告

1 目的

次期「横浜市子ども・子育て支援事業計画」（平成32年度～36年度）の策定に向けて、子育て中の方々から生の声をお聞きするとともに、参加者同士が語りあうことを通して「共感」や「気づき」につなげていただく機会とするため、市内全区で「グループトーク」を開催しました。

2 概要

(1) グループトークの内容

横浜での子育てについて、以下3つのテーマごとに、個人ワークとグループワークを行い、話し合いました。

ア 個人ワーク：ふせんを使って、自身の想いや意見などを書き出す。

イ グループワーク：ふせんを模造紙に貼りながら、グループで共有し・意見を出し合う。

【テーマ】

テーマ①「子育てで悩んでいること、困っていること、課題に感じていること。」

テーマ②「こうなったらいいな、こんな支援があったらいいな。」

テーマ③「私の一歩（自分にできること）」

(2) 日時・会場・参加人数（開催順）

単位：人

日時			開催区	会場	参加人数
10月26日	金	10:00 ~ 12:00	都筑区	都筑区役所1階 多目的室	10
11月1日	木	10:00 ~ 12:00	泉区	泉区役所4階 A・B・C会議室	16
11月7日	水	10:00 ~ 12:00	緑区	緑区役所4階 A・B会議室	9
11月10日	土	10:00 ~ 12:00	南区	南区役所1階 多目的ホール	6
11月14日	水	10:00 ~ 12:00	鶴見区	鶴見区役所6階 8・9・10号会議室	12
11月26日	月	15:00 ~ 17:00	港北区	港北区役所1階 健診会場（予防接種室）	13
11月28日	水	10:00 ~ 12:00	保土ヶ谷区	保土ヶ谷区役所3階 301・302会議室	10
11月29日	木	10:00 ~ 12:00	青葉区	青葉区役所4階 401会議室	10
11月29日	木	10:00 ~ 12:00	栄区	栄区役所新館1階 健康相談室101・102	15
12月8日	土	14:00 ~ 16:00	磯子区	磯子区役所7階 701・702会議室	7
12月18日	火	13:30 ~ 15:30	中区	中区役所本館7階 702・703会議室	11
12月20日	木	10:00 ~ 12:00	瀬谷区	瀬谷区役所5階 大会議室A・B	6
1月12日	土	15:00 ~ 17:00	西区	西区役所3階 A・B会議室	15
1月16日	水	10:00 ~ 12:00	港南区	港南区役所6階 602会議室	24
1月18日	金	10:00 ~ 12:00	旭区	旭公会堂 1号・2号会議室	9
1月19日	土	13:00 ~ 15:00	神奈川区	神奈川区地域子育て支援拠点 かなーちえ	13
1月26日	土	10:00 ~ 12:00	金沢区	金沢区役所1階 1号会議室	8
1月26日	土	14:30 ~ 16:30	戸塚区	戸塚区役所8階 大会議室	7
合計					201

3 グループトークで出されたご意見について

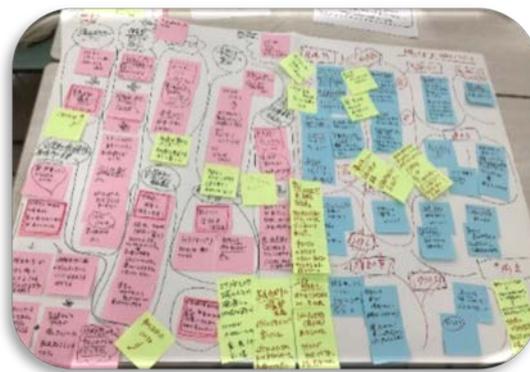
(1) テーマ①「子育てで悩んでいること、困っていること、課題に感じていること」(総数 1,189 件)

<カテゴリ>		<主な内容>
1	保育・預かりの場の提供 203	<ul style="list-style-type: none"> ・親や子どもの病気など急な預かりの場がない ・フルタイムでないと保育園に入れない
2	子どもの居場所 168	<ul style="list-style-type: none"> ・公園等外遊びの場所に制限が多い ・中高生向けの地域の居場所がない
3	地域・人とのつながり 152	<ul style="list-style-type: none"> ・実家が遠く、近くに頼れる人がいない ・ほかの子どもとの関わりが難しい
4	育て方 149	<ul style="list-style-type: none"> ・家事と育児の両立が大変 ・思春期の子どもへの接し方（スマホ等）が不安
5	子育てにやさしいまち 136	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーカー等での公共交通機関の移動が大変 ・男性トイレにおむつ替え台がなく大変
6	子育て情報 81	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット情報等が多く、信頼できる情報が不安 ・学齢期以降の情報が少ない
7	子育ての相談先 60	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身が気軽に相談できる相談先がない ・母親教室が土日に開催されない
8	働き方 54	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事・介護と育児の両立が難しい ・父親への子育て支援が少ない
9	教育関係 51	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 活動の負担が大きい ・中学校給食がない
10	行政サービス 45	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての経済的負担が大きい。補助が少ない ・申請に手間がかかる
11	産前・産後のケア 35	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃん教室に第二子出産時は通えない ・産前の時には、見通しが立てられなかった
12	親の居場所 16	<ul style="list-style-type: none"> ・産前から気軽に親同士が集う居場所がない ・親がリフレッシュできるような場所がない
13	子どもの将来（進学・就職） 9	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に遅れがある子への支援が足りない ・子どもたちの大人との関わりが少ない
14	その他 30	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語版の母子手帳や通訳がない ・他都市とサービス内容・水準にバラつきがある



(2) テーマ②「こうなったらいいな、こんな支援があったらいいな。」(総数 1,005 件)

＜カテゴリ＞		＜主な内容＞	
1	子育てにやさしいまち	159	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーカーや自転車でも通行しやすい歩道の改善 ・親子が利用しやすい安全な公園の充実
2	保育・預かりの場の提供	147	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育の充実・マッチング（探しやすさ） ・保育園を入りやすくしてほしい
3	子どもの居場所	128	<ul style="list-style-type: none"> ・禁止事項のない外遊びの場が充実すると良い ・不登校・ひきこもりの子が過ごせる居場所がほしい
4	地域・人とのつながり	123	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩ママ・パパとの出会いのきっかけがほしい ・多世代で交流できる仕組みがあると良い
5	子育て情報	96	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にあった情報を届けてほしい ・行政のHPを見やすくしてほしい
6	働き方	57	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務など多様な働き方の充実 ・父親の子育て参加が当たり前の社会
7	教育関係	56	<ul style="list-style-type: none"> ・働きながらPTA活動をするための負担軽減 ・中学校給食の実施
8	育て方	48	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃん教室の回数を充実してほしい ・思春期の親を対象とした両親学級を開催してほしい
9	行政サービス	44	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費助成の拡充など、経済的支援の拡充 ・行政手続きを簡素化してほしい
10	子育ての相談先	43	<ul style="list-style-type: none"> ・電話やネットなど柔軟な相談体制の充実 ・発達障害の相談先の充実
11	産前・産後のケア	28	<ul style="list-style-type: none"> ・産前の不安を共有できる機会がほしい ・産前・産後のケアが気軽に受けられると良い
12	親の居場所	26	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点や親子の居場所が増えてほしい ・父親が集まれる居場所がほしい
13	子どもの将来（進学・就職）	7	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での学習支援を充実してほしい ・子どもが結婚・出産等将来設計を考えられる支援
14	その他	43	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てにやさしい人と街になってほしい ・人材確保・人材育成にも力を入れてほしい

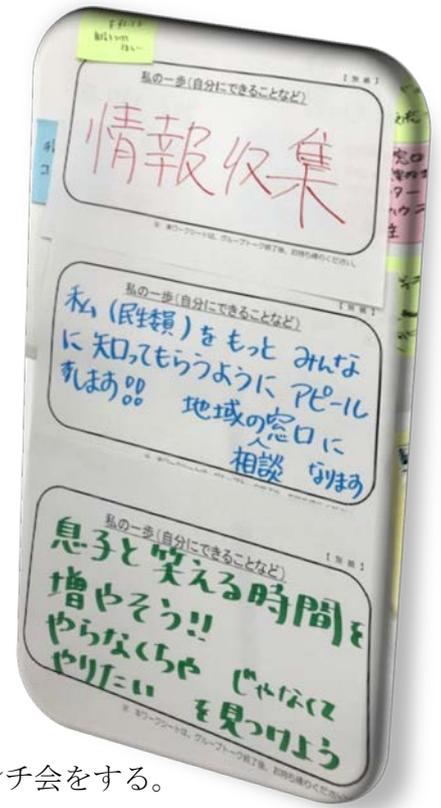


(3) テーマ③ 「私の一歩（自分にできること）」

テーマ①、②を話し合った後に、参加者の皆様に自分にできることを「私の一歩」として考えていただきました。

<主な内容（要旨）>

- サポートが必要な時や地域のイベントなどについて、自分から積極的に情報を仕入れる。
- できるだけ多くのママと話をする。
- 地域のことを知る。人に想いを話してみる。
- 近所の人にあいさつやイベントに参加をして、関係をつくる。
- 地域に人に頼ってみる。頼られたら向き合う。
- 地域のなかで、自分ができることを考えて行動してみる。
- 周囲の人に対して偏見をもたず、「フラットな目」で見してみる。
そうすると、関係性が広がると思った。
- 民生委員をもっとみんなに知ってもらうようにアピールします！
地域の相談窓口になる。
- 悩んだら行動してみる。困っていることを発信する。
- 息子と笑える時間を増やそう！やらなくちゃじゃなくてやりたいを見つけよう。
- 自分の時間を持つ。その中で自分のできることを社会に役立てたい。
- 子育てについて、気にしすぎないようにする。
- 自分の子どもに対して、大らかに接する。
- 地域のおせっかいさん・つなぎ役を目指す。
- 中学校の親同士のつながりが希薄化しているので、自宅に呼んでランチ会をする。
- ベビーカーで困っている人に声をかける。
- 自分自身を含めて、子育て中の人を褒める。
- 自分が知っている・体験した子育て情報を発信する。
- 街で困っている親子を笑顔で見守り、必要に応じて声をかける。
- プレイパーク等の居場所や子育て支援のサービスを積極的に使ってみる。
- 不登校のママたちが集まる会を学校に提案してみる。
- 近くに住む外国人親子に子育て情報を届けたい。可能な限りで手続き等をフォローする。
- 行政や自治会に対して声を届けるために、自分や周りの想いを発信し届ける。
- 職場の育休等の制度を活用し発信する。まずは前例を作り、職場全体が子育てしやすくなるように働きかける。
- 今日のグループトークのことを周囲の人と共有する。
- 登校時の見守りなど、地域の大人としてできることを続ける。頼られる人になる。
- 夫の育児に「ありがとう」を伝える。
- ひとり親として、子育てしていることに誇りを持つ。
- 働きながら子育てしている人たちもつながりをつくり、情報を共有する。



(4) 意見のまとめ

以下は、テーマ①、②の中での主な意見について、関連するものをまとめて整理したものです。

ア 子育て全般（理念等）に関すること

- 子どもたちが主役の子育てを推進してほしい。
- 子育てをすることが、地域の中であたたかく理解される社会であってほしい。

イ 保育・教育に関すること

<保育・預かりの場の提供>

- 保育園が足りない。
- 日曜や祝日に預けられる保育所が増えてほしい。
- 保育園について、子どもの個性に応じた選択肢を選べるようになってほしい。
- 年齢、時期を問わず保育園に入れるようになってほしい。
- どこの保育園を選んで良いかわからない。（質のチェック方法がわからない）
- 保育園情報について、情報が古いことがある。タイムリーな情報がわかるようにしてほしい。
- 保育園を選ぶにあたり、保育士さんと話す機会等があると選びやすい。
- 保育園の申請方法がわかりにくい。手続きを簡素化や電子申請にしてほしい。
- 保育園が増えているのは、ありがたいと思う。
- 保育士がすぐ辞めてしまう等の問題がある。人材や質の確保についても力を入れてほしい。
- 子どもが病気の時などの預け先の確保に苦勞している。
- 祖父母などが近隣にいない人でも安心して子育てができるように、一時預かりなどの支援を充実してほしい。
- 一時預かりや病児保育について、どこが空いているかいちいち問い合わせる必要があるため、時間がかかってしまう。
- 保育園や幼稚園の諸費用が高い。（所得制限により、子育てに費用がかかってしまう）
- フルタイム勤務でないと、保育園に入れない。
- 0～2歳児の保育園の定員を増やしてほしい。

<子育ての相談先>

- 保育園での子どもの様子がわからない。保育園でパパ・ママと夕食をとる機会があると良い。
- 子どもの日常の様子を分かっている保育園や幼稚園で、育児相談が気軽にできると良い。
- 子育て情報などについて、一つのホームページ等に一元化してほしい。（どこを探して良いのかわからない）

<その他>

- 保育園の送迎を頼める人がいない。
- 延長保育の時間をもっと延ばしてほしい。
- ダブルケアの人への支援を手厚くしてほしい。
- 双子や多胎児への支援に力を入れてほしい。

ウ 学齢期の子どもに関すること

<育て方>

- スマホやインターネット（SNS）について、学ぶ機会やルールを作ってほしい。
- 思春期の子どもへの接し方や育て方がわからない。

<子どもの居場所>

- 中高生が学校以外の地域で、安心して過ごせる居場所があると良い。
- 公園などでは、ボール遊びなどが制限されていることが多い。
- 禁止事項の少ない遊び場として、プレイパークのような場所を充実してほしい。
- 放課後キッズクラブの預かり時間を延長してほしい。
- 雨の日に遊べる場所が少ない。

<学習>

- 学習につまずくことで、不登校になってしまうこともある。
- 親も働いていて、なかなか勉強をみるのが難しい。学校の教室などを利用した学習支援が充実すると良い。
- 体験や感動できるように、子どもが興味を持てる授業をしてほしい。

<中学校給食>

- ハマ弁の利用率が少なく、クラス中でも特別な目で見られてしまい、利用したくないと考える子どもが多い。
- ハマ弁を受け取りに行く手間もあるなかで、昼食の時間が短いことが問題だと思う。

<子育て情報・相談先>

- 子育て情報が小学校にあがると入ってこなくなる。
- 学齢期への支援や情報を充実させてほしい。
- 就学以降の相談窓口がほしい。
- プレイパークなど身近な場所で、気軽に子育ての相談ができる窓口がほしい。
- 思春期の子どもの相談先があると良い。

<不登校・ひきこもり>

- 不登校やひきこもりを未然に防ぐ対応をしてほしい。
- 不登校になったとき、なりそうなきの相談の場がほしい。
- 学校以外に不登校の子の居場所がほしい。

<PTA活動>

- PTAの担い手がない。
- 仕事していてもPTAに参加できるように、負担を減らすなど仕組みを変えてほしい。

エ 障害のある子どもに関すること

<支援・サービス>

- 障害があることで、保育や居場所など受けられるサービスの選択肢が狭まってしまう。
- 子どもの特性にあった支援を身近な地域で受けられるようにしてほしい。
- 時間の延長など障害児の預かりサービスを充実してほしい。

<居場所>

- 地域に障害児が溶け込めない。
- 障害児が過ごせる居場所が増えてほしい。

<教育・進学>

- 障害児の進学先について、情報が少ない。
- 学習に遅れのある子どもたちへの支援教室を充実してほしい。
- 個別支援級の生徒の登校を補助するサポーターを配置してほしい。

<子育ての相談先>

- 子どもの発育・発達をママ友と共有できない。
- 発達障害について相談できる場所が少ない。
- 地域で障害児が当たり前に過ごせるよう、地域の方々に障害を理解してもらえるような啓発に取り組んでほしい。
- 地域療育センターの利用者が多く混んでいる。児童発達支援を充実させてほしい。

<子育て情報>

- 放課後等デイサービスなど、障害児の支援に関する情報が不足している
- 発達に不安のある親子のための情報誌があると良い。

<その他>

- 発達障害があることで、社会から孤立してしまうように感じてしまう。
- 全ての病院で障害児が受診できるようにしてほしい。
- 障害児がいると仕事をやめなければならない。

オ 産前・産後の支援に関すること

<育て方・しつけ>

- 子どもの栄養バランスが不安。
- 子どもの発達・発育に対して不安がある。周囲と比べてしまう。
- 子どもとの生活リズムを整えるのが大変。
- 赤ちゃん訪問が遅く、産後の辛いときはすでに終わっていた。
- ものづくりやスポーツなど、託児ありのママのリフレッシュ講座がほしい。

<子育ての相談先>

- 役所への相談について、窓口や電話だけでなく、チャットなど柔軟に対応してほしい。
- 支援に関わる人が年齢で変わることなく、一人の人にずっと関わってほしい。もしくは連携して引継いでほしい。
- 行政サービスを提案してくれるコンシェルジュみたいな人がほしい。
- 母親教室を、区役所以外で土日を開いてほしい。
- 土日に子育てのことを相談できるところが少ない。

<子育て情報>

- 赤ちゃん教室の頻度を多くしてほしい。1歳以降の教室も実施してほしい。
- 1か月検診や1歳半検診の際に、子どもへの声掛けや対応の仕方の教室を行ってほしい。
- プレパパ、プレママ向けの行政による教室を、身近な地域でやってほしい。
- 子どもを育てるにあたって不安や戸惑いがあるときに、どの情報が正しいのか判断がつかず、混乱してしまう。
- 支援が必要な子どもや家庭に情報が届く仕組みがほしい。
- 妊婦の時に、出産後の情報が欲しい。
- ネット情報が多すぎて、なにが正しいかわからず、さらに不安になる。
- 行政や病院等から正しい情報が直接届く仕組みがほしい。
- 先輩ママ等からの生の情報や経験などが聞けると嬉しい。
- 妊娠から子育て期までの、やることや起こることがわかるイベントカレンダーがほしい。

<産前・産後のケア>

- 産前の不安を共有できる機会が増えると良い。
- 産後ケアをもっと気軽に受けられるようにしてほしい。
- 産後ケアの情報を分娩した病院で教えてほしい。
- 赤ちゃん教室を二人目も対象にしてほしい。
- 定期検診を土日にも実施してほしい
- 産前産後ヘルパーや子育てサポートシステムは、料金が高く手続きも大変で、利用するハードルが高い。

<その他>

- 自治体によってサービスにバラつきがあり分かりにくく、不公平感を感じることもある。

カ 地域における子育て支援に関すること

<地域・人とのつながり>

- 地域に祖父母や友人など、頼れる人がいない。
- 子育てに関する不安や悩みを一人で抱え込んでしまっている人がいる。
- 困った人に気づき、声を掛け合うことで、地域の中で支えあいができる環境になってほしい。
- 先輩ママと話す機会がほしい。子どもの年齢の3～5年後先の状況を知りたい。
- 子どもにとっても、地域のお兄さん・お姉さんやおじいちゃん・おばあちゃんと交流する機会が少ないように思う。
- 地域の中に、人と人をつなぐコーディネーターがいることが、大切だと思う。
- 地域での声かけ・見守りが増えると良い。
- 子育て支援にもシニアの力を活用できるとよい。

<居場所>

- 放課後の学校のグラウンドを開放してほしい。
- 地域ケアプラザが子育ての拠点になってほしい
- 小学生以上が行ける地域子育て支援拠点のような施設がほしい。
- 父親が集まれる居場所がほしい。
- 親子で行ける場所や親同士がくつろげる場所が近くにほしい。
- 地域子育て支援拠点を増やしてほしい。
- 大きな子を持つ親の交流会や居場所があると良い。
- 歩いて行ける範囲に、子どもを遊ばせられる公園やプレイパークがほしい。
- 外国人の親子が集まりやすい場所がほしい。

<子育ての相談先>

- 身近に相談できる人、場がないと思っている人が多い。
- プレパパ・ママから気軽に行ける親子の居場所として、広場や拠点の存在を知りたかった。
- 地域の相談できる人がどこにいるのかわかるようになると良い。
- 自治会町内会の規模で、地域に子育て家庭をサポートしてくれる拠点が欲しい。

<子育て情報>

- 地域の中で、子育ての情報を共有する地域コンシェルジュ機能がほしい。
- 気軽にボランティアができる環境・情報がほしい。
- 情報を知っている人と知らない人の差が大きい。
- 子育ての先輩たちをもっと活用できるようにしてほしい。
- 子どもやママ・パパが参加しやすいイベントを充実してほしい。
- 孫育て講座をたくさん開催してほしい。

<保育・預かりの場の提供>

- 急な用事ができた時の子どもの預かりに困る。
- 子育てサポートシステムの利用料金を下げてほしい。
- 子育てサポートシステムの預かる側として外国籍の方も登録してほしい。

キ ひとり親家庭に関する事 配偶者からの暴力（DV）への対応に関する事

- ひとり親で働く人は、仕事と育児の両立が大変。
- ひとり親でも働きながら子育てができるよう、手当や支援を充実させてほしい。

ク 配偶者からの暴力（DV）への対応に関する事

- DVにかかる相談先がわからない。本人や周囲の人の相談場所をわかりやすくしてほしい。
- 周囲の人も正しい知識や支援制度を勉強できる機会があると良い。

ケ ワーク・ライフ・バランスに関する事

- 女性の社会進出が進み、共働きの世帯が増えているが、育児や家事の負担が女性に偏っている。
- 男女ともに育児や家事ができるよう、企業も含めた制度の工夫が必要だと思う。
- シェアオフィスやテレワークなど、地域や自宅で働ける環境が充実してほしい。
- 子どものライフステージに合わせた働き方ができると良い。
- マザーズハローワークが近くにほしい。

コ まちづくりに関する事

- ベビーカーだとバスに乗れないことがある。ベビーカーでもバス等に乗り降りしやすいように工夫してほしい。
- 子どもが電車やバスなどで泣いてしまうと、周囲から迷惑がられることがある。
- 歩道が狭く傾いているところがある。ベビーカーや自転車で移動することが大変。段差のない道が増えると良い。
- 男性トイレにおむつ替え台がない。
- 子どもでも利用しやすい図書館になってほしい。
- 災害時に、子どもを保育園に迎えに行けなくなった時のことが不安。
- 学校や幼稚園などで子ども 110 番があまり広がっていない。

サ その他

- 子育て中の親に対する、将来設計の講座を開催してほしい。
- 医療費助成を充実してほしい。
- 多子世帯への経済的な支援を充実してほしい。
- 通訳ボランティアが幼稚園や保育所、学校の手紙等の通訳の手伝いができたらよい。
- 子育てにかかる経済的負担が大きい。もっと手当等を充実してほしい。

4 アンケート結果

(1) 回答者数

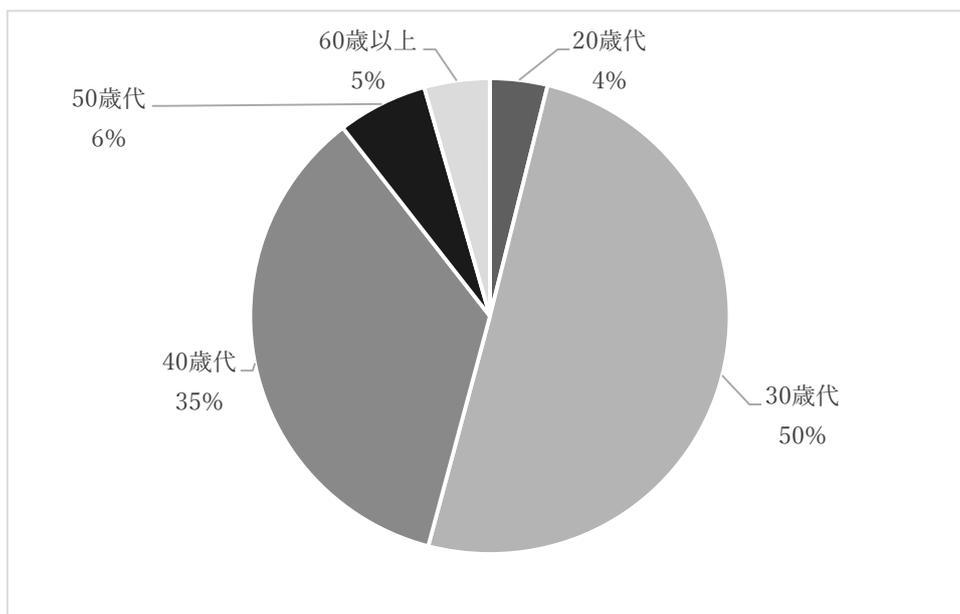
181名 (回答率：90%)

(2) 性別

女性：168名 (92.8%) 男性：12名 (6.6%) ※不明：1名

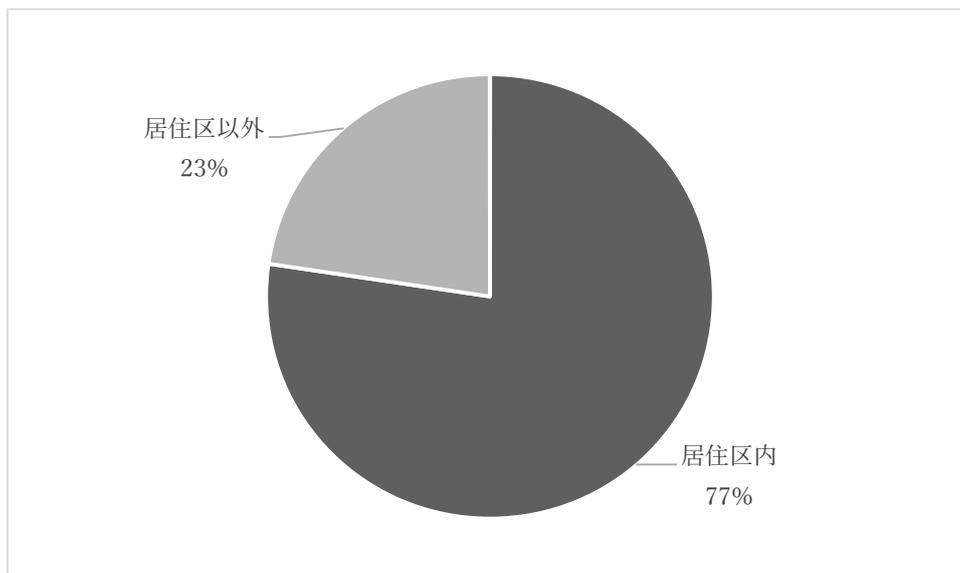
(3) 年代

30歳代の参加者が最も多かった。(91名：50%)



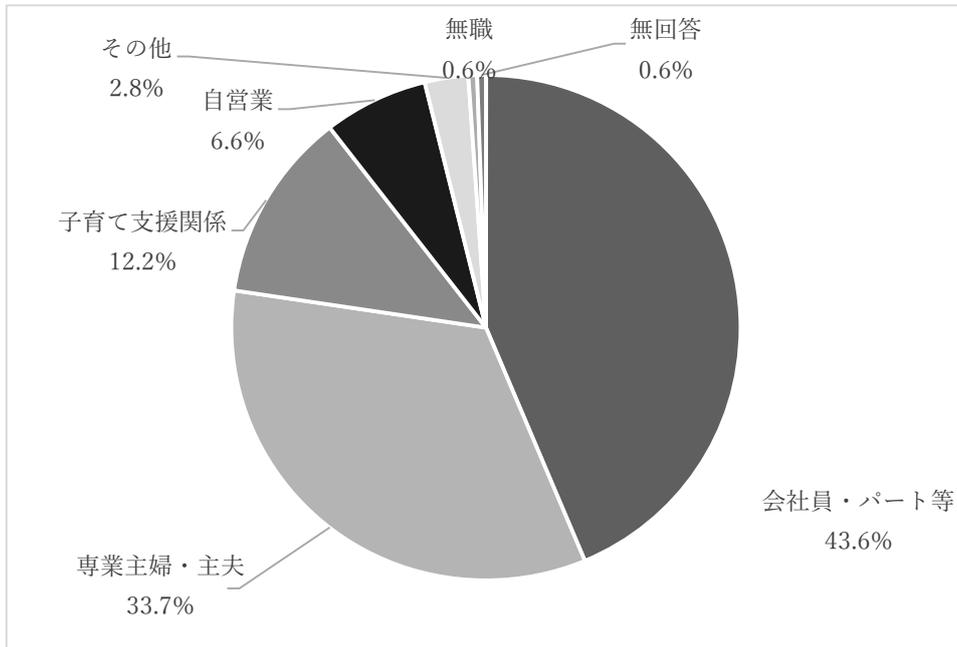
(4) 居住区

居住区内からの参加者が最も多かった。(140名：77%)



(5) 職業

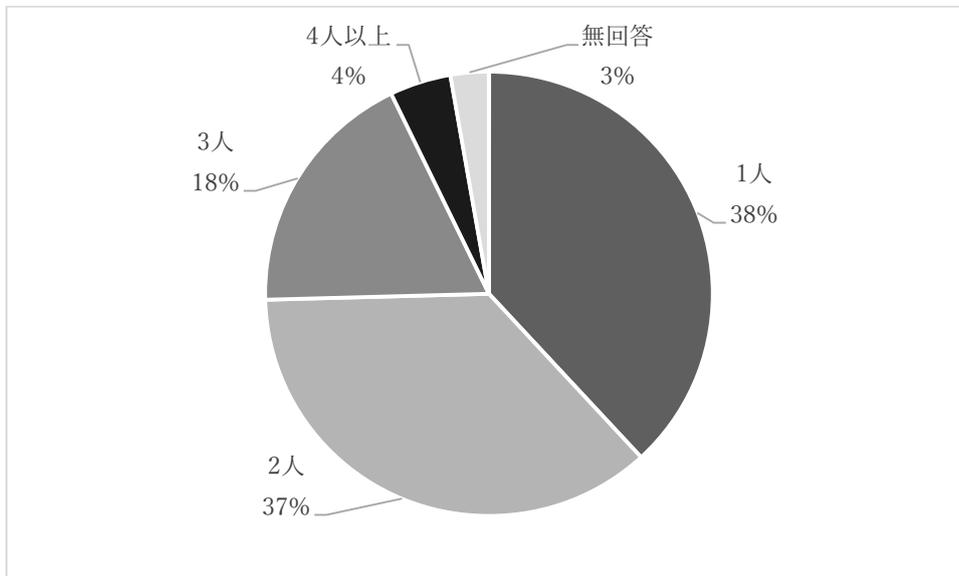
会社員・パート等が最も多く（79名：43.6%）、次いで専業主婦・主夫が多かった。（61名：33.7%）



(6) 子どもの人数・年代

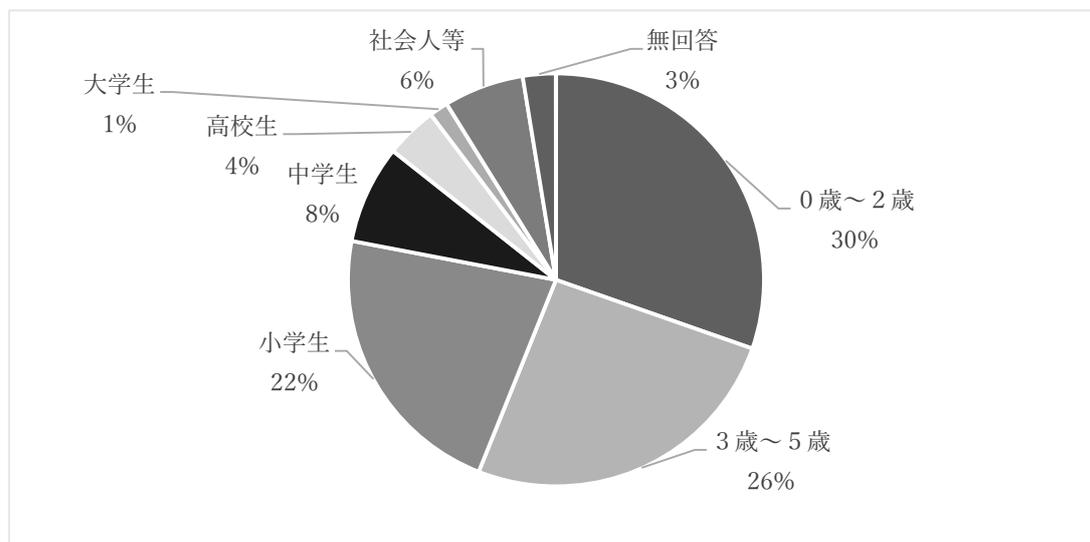
ア 人数

1人の方が最も多く（69名、38%）、次いで2人の方が多かった。（66名、37%）



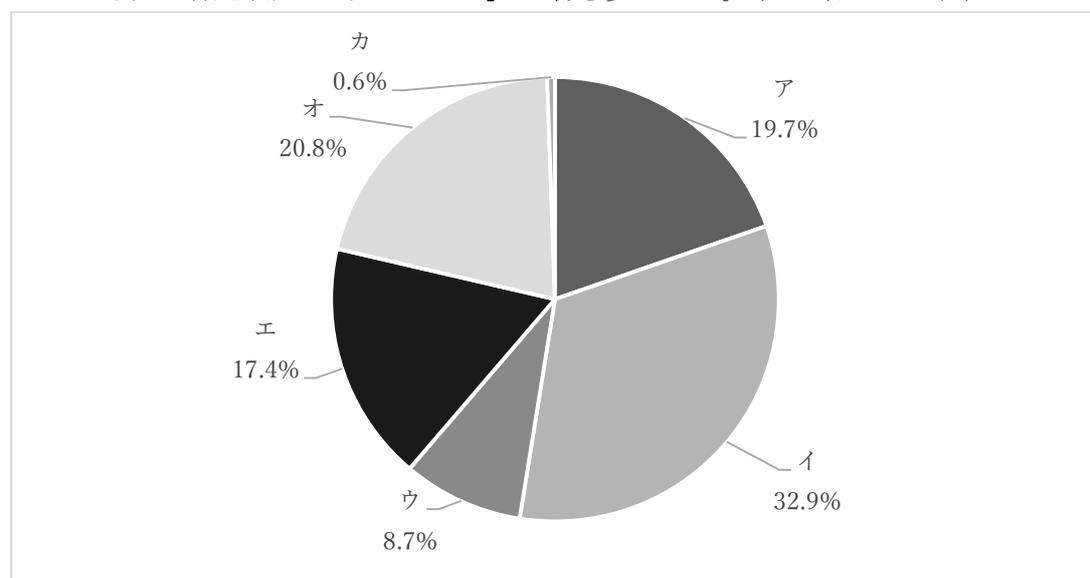
イ 年代（重複あり）

「0歳～2歳」が最も多く（62名：43%）、次いで「3～5歳」（54名：25%）、「小学生」（50名：23%）が多かった。



(7) グループトークに参加した理由（複数回答可）

「いろいろな人の話を聞いてみたかった」が最も多かった。（117名：32.9%）

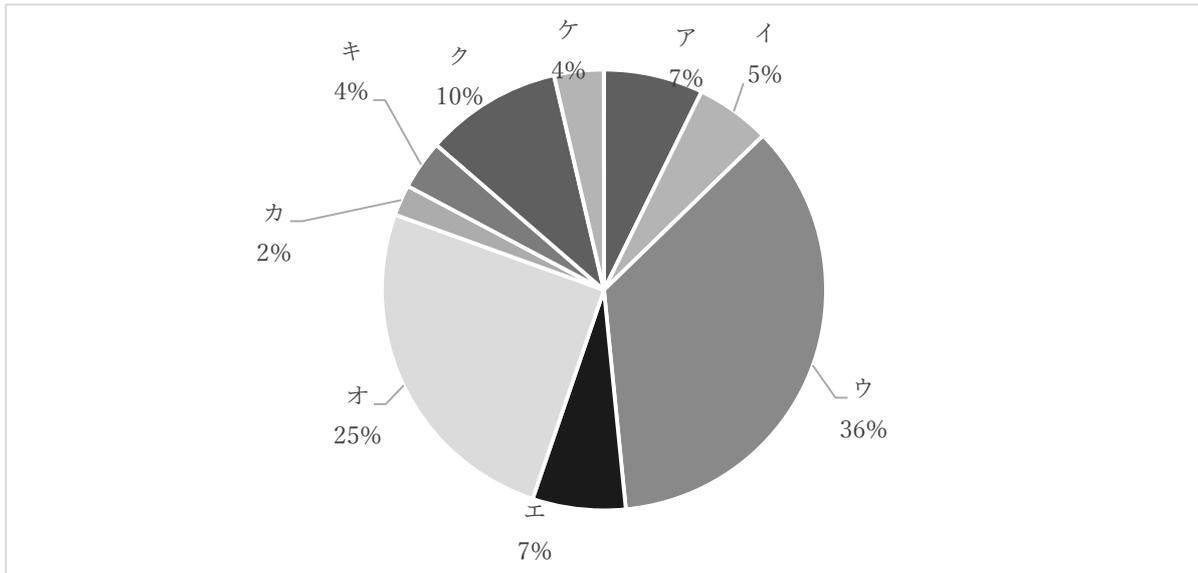


ア	自身の経験や感じていることを話したかった
イ	いろいろな人の話を聞いてみたかった
ウ	参加者の方とのつながりを作りたいかった
エ	横浜市の子ども・青少年の施策に興味があった
オ	知人から勧められた
カ	その他

<その他> 「声をあげるきっかけにしたい」、「子育てに投資して欲しいから」など

(8) グループトークのことを知ったきっかけ (複数回答可)

「知人から勧められた」が最も多かった。(79名：36%)

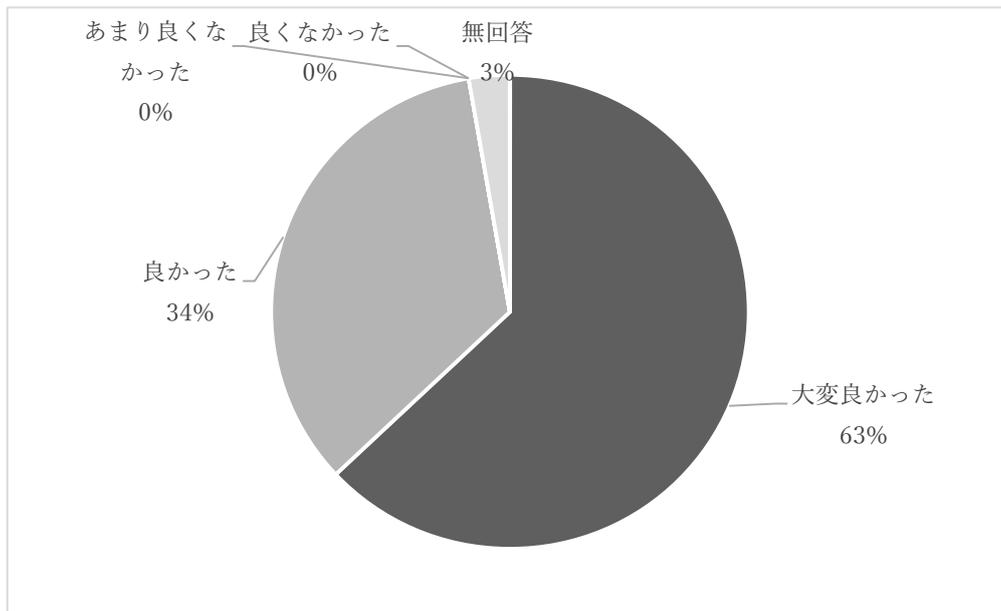


ア	市役所・区役所でチラシを見た
イ	「広報よこはま」で知った
ウ	知人から勧められた
エ	保育所・幼稚園・認定こども園等でチラシを見た
オ	地域子育て支援拠点・親と子のつどいの広場でチラシを見た
カ	放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ・はまっ子ふれあいスクールでチラシを見た
キ	横浜市 (こども青少年局) のホームページで知った
ク	SNS (Twitter、Facebook、インスタグラム 等)
ケ	その他

<その他> 「ココアプリ」(港北区)、「学校の掲示板」など

(9) 参加した感想 (満足度)

全ての方が、「大変良かった」(114名:67%)、もしくは「良かった」(62名:30%)と回答。



<主な感想>

- 自分の知らないことを知るきっかけになった。自分の感じていることをみんな感じていると思った。私の一歩がたくさん集まれば、大きな取組になると思った。
- 自分が課題であると感じていたことに共感が得られた。同じような思いの方に会えた。様々な視点の意見を聴くことができた。自分に何ができそうか具体的に考えることができたので、次は行動につなげたい。
- 役所の方もいて、ママたちの声が直接届いているという感じがする。1つでも実現するように期待している。
- 色々な方の意見を聴いて話すことが楽しかった。一つ一つすべてを解決することは難しいと思うが、意見を出す場があることで、これからより良い子育て支援が増えれば良いなと思った。
- ワークショップ形式のおかげでとても話しやすかった。それぞれ抱えていることは違うが、子育てという共通項があることでつながりあえることを感じた。計画を立てる前に、意見をこのような形で聞くという姿勢がうれしい。これからも、当事者の語り合う場があるといいなと思った。当事者自身の力になる場でもあった。
- 子育て、介護、障害児サービスと多岐に渡る問題について話を聞くことができて良かった。まずは、知ることが大切だと感じた会だった。
- 子どもの年齢によって悩みが違うので、他の方の経験を聞けてためになった。
- 不便や不都合を感じていても声に出す場もないので、どうにもならないと思っていたが、気持ちを伝えられてうれしかった。

グループトーク「みんなで話そう！横浜での子育て」

開催報告

横浜市こども青少年局企画調整課

平成31年3月